

---

# 会社説明資料

－ 2023年3月期 －

2023年6月

株式会社 **じもとホールディングス**

株式会社 **きらやか銀行**    株式会社 **仙台銀行**

# 目次

## 1.2023年3月期 グループ決算の状況

① 決算の概要	…	1
② 資金利益	…	2
③ 貸出金・預金	…	3
④ 有価証券	…	4
⑤ 役務取引等利益	…	5
⑥ 経費、経営効率化	…	6
⑦ 与信関係費用、金融再生法開示債権	…	7
⑧ 自己資本比率、ROE	…	8
⑨ 中期経営計画目標と実績	…	9
⑩ 2024年3月期 業績予想と配当予想	…	10

## 2.中期経営計画の進捗状況

① 経営理念と目指す姿	…	11
② 本業支援	…	12
③ 業務変革（DX）	…	13
④ 経営管理	…	14
⑤ SBIグループとの主な連携状況	…	15
⑥ グループ業績改善への取組み	…	16
⑦ 2023年度の重点課題	…	19

## 3.じもとグループのサステナビリティ

① サステナビリティ基本方針	…	20
② 本業支援を通じたサステナビリティ	…	21
③ 主要課題への取組み	…	22
④ 人事戦略、投資	…	24
⑤ トピックス（きらやか銀行、仙台銀行）	…	27

---

# 1. 2023年3月期 グループ決算の状況

# ① 決算の概要 – きらやか銀行が赤字決算、HD当期純利益は△70億円 –

- 当社グループの**経常収益**は、有価証券利息配当金の減少等により、資金運用収益が減少したことなどから、前年同期比△2,772百万円の**37,435百万円**となりました。
- **経常利益**は、きらやか銀行において大口取引先の破たんや将来に向けた予防的な引当金計上により与信関係費用が大幅に増加したことなどから、前年同期比△8,784百万円の**△4,297百万円**となりました。
- **親会社株主に帰属する当期純利益**は、前年同期比△9,667百万円の**△7,082百万円**となりました。

(単位：百万円)

	連結（一部2行合算）		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比
<b>経常収益</b>	<b>37,435</b>	<b>△2,772</b>	<b>17,400</b>	<b>△1,014</b>	<b>14,700</b>	<b>△1,534</b>
業務粗利益	26,628	△2,764	14,407	△1,372	12,048	△1,471
資金利益	<b>23,323</b>	△2,790	<b>12,155</b>	△1,199	<b>11,291</b>	△1,647
役務取引等利益	3,161	25	2,013	△192	859	192
その他業務利益	142	0	238	20	△102	△16
うち国債等債券損益 ※	△215	△36	△20	△4	△195	△32
経費（△）	22,348	△661	11,559	△578	10,080	△144
コア業務純益 ※	5,031	△2,084	2,868	△789	2,162	△1,295
<b>コア業務純益（除く投資信託解約損益）</b> ※	<b>4,942</b>	<b>△2,098</b>	<b>2,868</b>	<b>△789</b>	<b>2,073</b>	<b>△1,308</b>
与信関係費用（△） ※	<b>9,349</b>	6,884	<b>8,656</b>	7,220	693	△336
株式等関係損益	377	178	123	97	200	27
<b>経常利益</b>	<b>△4,297</b>	<b>△8,784</b>	<b>△5,921</b>	<b>△7,898</b>	<b>1,491</b>	<b>△943</b>
特別損益	△510	△298	△458	△330	△79	16
法人税等合計	2,269	588	1,954	1,183	254	△577
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>△7,082</b>	<b>△9,667</b>	<b>△8,334</b>	<b>△9,412</b>	<b>1,157</b>	<b>△349</b>

※きらやか銀行、仙台銀行の2行合算計数です。

## ② 資金利益 – 外債ファンド評価損の抑制を優先、利息配当金が減少 –

- 有価証券利息配当金は、急激な海外金利の上昇に伴い、両行保有の外債ファンド内で一時的に日本国債などの短期債券へ切り替えを行い、有価証券評価損の抑制を優先したことから、投資信託分配金が減少し、**前年同期比△31.1億円の13.2億円**となりました。
- 貸出金利息は、**前年同期比+2.0億円の219.7億円**となりました。きらやか銀行は、中小企業向け貸出は増加したものの、シンジケートローン等の大企業向け貸出を減少させており、前年同期比△0.9億円の113.9億円。仙台銀行は、住宅ローンや中小企業向け貸出が増加し、前年同期比+2.9億円の105.7億円となりました。

(単位：億円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比
<b>資金利益</b>	<b>234.4</b>	<b>△28.4</b>	<b>121.5</b>	<b>△11.9</b>	<b>112.9</b>	<b>△16.4</b>
貸出金利息	219.7	2.0	113.9	△0.9	105.7	2.9
有価証券利息配当金	<b>13.2</b>	<b>△31.1</b>	7.2	<b>△11.5</b>	6.0	<b>△19.5</b>
預金利息 ※	1.5	△0.5	0.9	△0.2	0.5	△0.3
<b>平均残高</b>						
貸出金平均残高	<b>18,707</b>	<b>239</b>	9,816	<b>△191</b>	8,890	<b>431</b>
有価証券平均残高	5,393	△122	2,392	△51	3,001	△71
預金平均残高 ※	25,152	△8	12,760	△217	12,392	209
<b>利回り</b>						
貸出金利回	1.18	△0.01	1.17	0.01	1.18	△0.03
有価証券利回	0.24	△0.56	0.30	△0.46	0.20	△0.63
預金利回 ※	0.00	△0.00	0.00	△0.00	0.00	△0.00

※預金には、譲渡性預金も含まれます。

### ③ 貸出金・預金 – 住宅ローンが大幅増、中小企業向け貸出も増加 –

- 2行合算の**貸出金残高**は、コロナ禍の影響を受ける事業者への継続的な資金繰り支援、仙台地区中心とした住宅ローン需要へ対応し、前年同月末比+98億円の**1兆8,852億円**となりました。
- きらやか銀行は、注力している中小企業向け貸出が増加しましたが、大企業向けシンジケート・ローンなどを減少させたことから、前年同期比△169億円の9,818億円となりました。  
仙台銀行は、スピード対応やオーダーメイド型融資により中小企業向け貸出が増加したことに加えて、住宅ローン需要に積極的に対応したことにより、過去最高の残高9,033億円となりました。
- 当社グループの**預金残高**は、前年同月末比△18億円の**2兆4,880億円**となりました。

(単位：億円)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年3月末	前年同月末比	2023年3月末	前年同月末比	2023年3月末	前年同月末比
<b>貸出金残高</b>	<b>18,852</b>	<b>98</b>	<b>9,818</b>	<b>△169</b>	<b>9,033</b>	<b>268</b>
中小企業向け貸出残高	10,896	120	6,060	78	4,836	41
消費者ローン	5,705	<b>341</b>	2,426	△28	3,278	<b>370</b>
うち住宅ローン	5,305	343	2,290	△16	3,015	360
地方公共団体向け貸出	882	△77	227	△43	655	△33
<b>預金残高（譲渡性預金含む）</b>	<b>24,880</b>	<b>△18</b>	<b>12,771</b>	<b>△107</b>	<b>12,109</b>	<b>88</b>
個人預金	15,902	△298	8,421	△426	7,480	127
法人預金	6,742	109	4,042	139	2,700	△30
公金預金	2,045	46	135	41	1,909	5

## ④ 有価証券 – 海外金利が急上昇、その他有価証券の評価損が拡大 –

- 2行合算の**有価証券残高**は、国債等が期日償還により減少したことに加え、評価損拡大によりその他証券が減少したことから、前年同月末比△341億円の**4,982億円**となりました。
- きらやか銀行と仙台銀行は、SBIグループと連携し、北米地域や欧州地域の国債・地方債など、信用力の高い外債ファンドを保有しておりますが、海外金利の急激な上昇により、両行の**その他有価証券の評価損**が拡大し、△**311億円（2行合算）**となりました。  
このため、両行は、評価損のさらなる拡大を抑制するため、一時的にファンド内で日本国債などの短期の債券へ切り替えを行っております。
- 今後も、SBIグループと連携し、再度、ファンド内にて信用力の高い海外債券（北米、欧州地域の国債等）に投資を行い、その収益の一部を評価損の解消に順次充当することで、中長期的な解消に取り組んでまいります。 （単位：億円）

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年3月末	前年同月末比	2023年3月末	前年同月末比	2023年3月末	前年同月末比
<b>有価証券残高</b>	<b>4,982</b>	△341	<b>2,208</b>	△105	<b>2,774</b>	△235
国債	32	△85	0	△30	32	△55
地方債	429	△6	72	△5	357	△1
社債	748	28	410	△17	337	45
株式	86	4	64	0	21	4
<b>その他証券（海外債券：国債・地方債等）</b>	3,686	△281	1,661	△52	2,024	△229
<b>その他有価証券の評価損益</b>	<b>△311</b>	△134	<b>△176</b>	△54	<b>△135</b>	△80
株式	3	2	2	0	1	1
債券	△9	△3	△7	△3	△2	△0
その他	△305	△133	△170	△51	△134	△81

## ⑤ 役務取引等利益 – 生命保険販売手数料、法人向け定額サービス手数料が増加 –

- 2行合算の役務取引等利益は、前年同期比△0百万円の**2,873百万円**となりました。
- 預かり資産手数料は、生命保険販売手数料が増加しましたが、市況変動の影響を受け、SBIマネープラザ手数料が減少となりました。
- 法人向け手数料は、業務提携手数料及びWEBプラットホーム等の定額サービス手数料が増加しています。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比
<b>役務取引等利益</b>	<b>2,873</b>	<b>△0</b>	<b>2,013</b>	<b>△192</b>	<b>859</b>	<b>192</b>
<b>役務取引等収益</b>	<b>6,323</b>	<b>77</b>	<b>3,414</b>	<b>△11</b>	<b>2,908</b>	<b>89</b>
受入為替手数料	1,445	△149	798	△66	647	△82
預かり資産手数料	1,495	△10	640	35	855	△45
（うち 投資信託販売手数料）	99	△210	31	△38	68	△172
（うち SBIマネープラザ手数料）	136	△177	52	△27	84	△149
（うち 生命保険販売手数料）	1,175	369	556	101	618	268
法人向け手数料	828	13	567	△77	260	91
（うち 私募債発行手数料）	122	△66	81	△90	40	24
（うち 業務提携手数料）	234	43	97	△37	137	80
（うち 定額サービス手数料）	436	54	388	49	48	5
その他	2,554	223	1,408	98	1,146	124
<b>役務取引等費用</b>	<b>3,450</b>	<b>77</b>	<b>1,400</b>	<b>181</b>	<b>2,049</b>	<b>△103</b>
支払為替手数料	338	△71	236	△34	102	△37
個人ローン保証料	1,507	△14	353	△6	1,153	△7
その他（住宅ローン団体生命保険料等）	1,604	164	810	222	793	△57



## ⑥ 経費、経営効率化 – 店舗戦略・業務効率化・人員戦略 –

- 当社グループは、経営効率化に向けて「店舗戦略」「業務効率化」「人員戦略」を一体で推進しております。2行合算の経費は、人件費、物件費および税金などが減少し、**前年同期比△722百万円**の21,639百万円となりました。
- 「店舗戦略」については、両行が店舗内店舗方式（ブランチ・イン・ブランチ）による統廃合を進め、当期は6カ店を実施しています。両行合算の実質店舗数は96カ店となっております。
- 「人員戦略」については、「店舗統廃合」「業務効率化」による創出人員を営業担当へ再配置する一方、全体の人員数は両行合算で前年同期比△55名となりました。これにより人件費は、前年同期比△440百万円となっております。
- コアOHRは、前年同期比5.28ポイント上昇し、81.13%となりました。経費が減少しましたが、有価証券利息配当金の減少等により、資金利益が減少したことが要因です。

(単位：百万円、店舗、人、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比
<b>経費</b>	<b>21,639</b>	<b>△722</b>	<b>11,559</b>	<b>△578</b>	<b>10,080</b>	<b>△144</b>
人件費	10,539	△440	5,585	△371	4,954	△69
物件費	9,268	△276	5,038	△200	4,229	△75
税金	1,832	△5	935	△6	896	0
<b>店舗数</b> (ブランチ・イン・ブランチ形式での実質店舗数)	96	△6	48	△5	48	△1
<b>人員数</b>	1,426	△55	734	△31	692	△24
<b>コアOHR</b>	81.13	5.28	80.11	3.27	82.33	7.61

- 2行合算の与信関係費用は、きらやか銀行において大口取引先の破たんや将来に向けた予防的な引当金を計上したことなどにより、前年同期比+6,884百万円の9,349百万円となりました。
- 金融再生法開示債権は、前年同期比+21,214百万円の72,831百万円。不良債権比率は、3.78%となりました。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比
	<b>与信関係費用</b>	<b>9,349</b>	<b>6,884</b>	<b>8,656</b>	<b>7,220</b>	<b>693</b>
内一般貸倒引当金繰入額	△132	△1,015	396	△632	△528	△383
内個別貸倒引当金繰入額	<b>8,926</b>	7,606	<b>7,831</b>	7,665	1,095	△59
<b>金融再生法開示債権残高</b>	<b>72,831</b>	<b>21,214</b>	<b>42,526</b>	<b>17,413</b>	<b>30,304</b>	<b>3,800</b>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,789	3,912	5,924	3,665	1,865	246
危険債権	59,839	19,794	34,783	15,709	25,055	4,084
要管理債権	5,202	△2,492	1,818	△1,961	3,383	△530
<b>不良債権比率</b>	<b>3.78</b>	<b>1.09</b>	<b>4.21</b>	<b>1.77</b>	<b>3.31</b>	<b>0.32</b>

(単位：百万円、%)

	2行合算			きらやか銀行			仙台銀行		
	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率
	<b>金融再生法開示債権の保全</b>	<b>72,831</b>	<b>57,289</b>	<b>78.66</b>	<b>42,526</b>	<b>29,199</b>	<b>68.66</b>	<b>30,304</b>	<b>28,090</b>
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,789	7,789	100.00	5,924	5,924	100.00	1,865	1,865	100.00
危険債権	59,839	47,317	79.07	34,783	23,055	66.28	25,055	24,262	96.83
要管理債権	5,202	2,182	41.94	1,818	219	12.08	3,383	1,962	57.99

## ⑧ 自己資本比率、ROE - 連結自己資本比率 7.67% -

- 連結自己資本比率は、リスク・アセット（分母）が減少する一方で、赤字決算により自己資本（分子）も減少したことから、前年同月末比0.48ポイント低下し、**7.67%**となりました。
- ROEは、赤字決算により、当期純利益ベースで△9.28ポイントの△7.01%となりました。

（単位：百万円、%）

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2023年3月末	前年同月末比	2023年3月末	前年同月末比	2023年3月末	前年同月末比
自己資本	106,975	△7,883	55,564	△7,900	52,244	145
リスク・アセット等	1,393,017	△15,879	725,016	△28,660	660,035	10,313
自己資本比率	<b>7.67</b>	<b>△0.48</b>	<b>7.66</b>	<b>△0.76</b>	<b>7.91</b>	<b>△0.10</b>

（単位：%）

	2行合算		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比	2023年3月期	前年同期比
ROE（業務純益ベース）	4.83	△0.50	5.01	0.71	4.67	△1.85
ROE（当期純利益ベース）	<b>△7.01</b>	<b>△9.28</b>	<b>△17.05</b>	<b>△18.82</b>	<b>2.16</b>	<b>△0.69</b>

## ⑨ 中期経営計画目標と実績 – 赤字決算で目標と乖離、業績回復へ改善策を実施 –

- 当社グループは、きらやか銀行の大口取引先の破たん、今後に備えた予防的な引当金計上等によって、グループ決算が大幅赤字となりました。このためグループ中期経営計画（2021年4月～2024年3月）の進捗は、当初目標に対して乖離が生じております。
- この状況を踏まえ、当社グループは、2022年9月2日付で「業績回復への取組み」、2023年4月28日付で「追加改善策」を公表しております。これまで各改善策を徹底して実行しており、早期の業績回復につなげてまいります（※詳細はP16～P18をご覧ください）。

（単位：億円、％）

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2023年3月期 計画	2023年3月期 実績	2023年3月期 計画	2023年3月期 実績	2023年3月期 計画	2023年3月期 実績
コア業務純益 ※1	62	<b>45</b>	32	<b>28</b>	33	<b>20</b>
経常利益	48	<b>△42</b>	20	<b>△59</b>	27	<b>14</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	37	<b>△70</b>	17	<b>△83</b>	20	<b>11</b>
貸出金平残	18,702	<b>18,707</b>	10,081	<b>9,816</b>	8,620	<b>8,890</b>
預金平残	25,052	<b>25,152</b>	12,854	<b>12,760</b>	12,197	<b>12,392</b>
自己資本比率	8.1程度	<b>7.67</b>	8.3程度	<b>7.66</b>	8.0程度	<b>7.91</b>
コアOHR ※2	78.7	<b>82.8</b>	79.0	<b>80.1</b>	75.3	<b>82.3</b>
ROE	3.0	<b>△7.0</b>	2.6	<b>△17.0</b>	3.6	<b>2.1</b>
顧客向けサービス業務利益 (2行合算) ※3	19	<b>34</b>	8	<b>19</b>	10	<b>14</b>

※1、2 投資信託解約益等（投資信託解約益＋債権売却益）を除く。

※3 顧客向けサービス業務利益 = 貸出金残高 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費。2行合算としております。

## ⑩ 2024年3月期 業績予想と配当予想

- 連結業績予想（2024年3月期）は、経常利益16億円、親会社株主に帰属する当期純利益17億円を見込んでおります。
- 年間配当金（2024年3月期）は、普通株式1株あたり10円00銭（前年比△2円50銭）を予定しております。  
配当方針として、コロナ禍の影響を受ける取引先支援のため、財務基盤の強化に向けて内部留保の充実を優先させていただくものです。また、業績予想に連動して年間配当水準を予想していることから、中間配当を見送り、期末配当に一本化する予定です。

### <業績予想>

（単位：百万円）

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績（参考）	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績（参考）	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績（参考）
経常利益	1,600	△4,297	100	△5,921	1,400	1,491
親会社株主に帰属する当期純利益	1,700	△7,082	700	△8,334	1,000	1,157

### <普通株式・配当予想>

（単位：円、1株あたり）

	中間	期末	年間
2024年3月期	0円00銭	10円00銭	10円00銭
2023年3月期（参考）	7円50銭	5円00銭	12円50銭

---

## 2. 中期経営計画の進捗状況

# ① 経営理念と目指す姿

- 当社グループの経営理念は、「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことです。
- 中期経営計画（2021年～2023年）では、コロナ禍の対応を重要課題とし、次の5年・10年後も見据えて「本業支援の深化」「業務変革（DX）」「経営管理」を計画の3本柱としております。
- 当社グループは、本計画を通じて、これまで以上にお取引先の業況改善や地域発展に貢献することで、当社グループの収益改善にもつなげる「共通価値の創造」を実現すべく取り組んでおります。



## ② 本業支援

- コロナ禍の影響が中長期化するなか、中小企業支援の実効性向上と融資増強に向けて、営業戦略、本部・店舗再編など、支援体制の抜本的な改革を進めております。
- 当社グループの最重点エリアである仙台地区においては、営業人員を投入し、既存取引先のグリップと新規開拓にさらに傾注。地元企業の資金ニーズに積極的かつ迅速に対応しております。
- ビジネスマッチングは、コロナ禍の影響で対面の商談会が減少。ECサイトでのビジネスマッチングなど新たな手法を導入しております。

### 中小企業成長戦略の深化

きらやか銀行

#### 中小企業支援体制の抜本的改革 (営業戦略、本部・店舗再編)

- ◆ 経営デザインシートを活用
- ◆ ローカルベンチマークを活用

#### 企業支援部を新設

ウィズコロナを見据え、経営改善支援、事業再生支援に特化した部隊を新設

仙台銀行

#### スピード対応、オーダーメイド融資 による基盤強化

- ◆ ファイナンスニーズ
- ◆ 経営支援ニーズ

SDGs取組支援、DXなど、ニーズに対応した支援メニューを拡充

### 仙台地区営業戦略

中小企業貸出平均残高

2022年度下期	4,796億円
対前年同期比	増加 130億円
伸び率	2.7%

きらやか銀行本業支援部  
法人推進室を新設

新規開拓  
メイン化営業の展開

### ビジネスマッチング

宮城と山形をつなぐ

紹介実績	162件 (前年同期比△38件)
成約実績	11件 (前年同期比△19件)

じもとまつり開催 (山形市と連携)

きらぼしFG連携 (東京)

紹介実績	33件 (前年同期比+14件)
成約実績	19件 (前年同期比+7件)

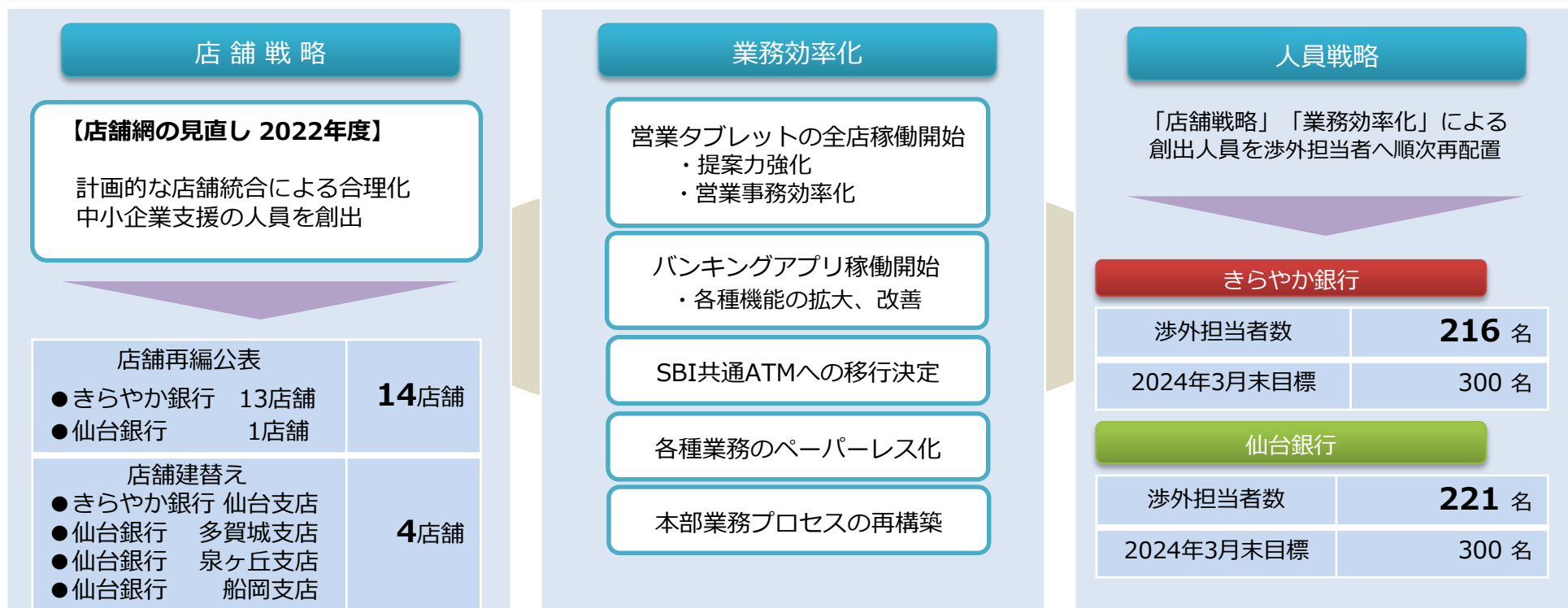
首都圏と宮城・山形を広域ネットですつなく



### ③ 業務変革（DX）

- 当社グループは、コロナ禍による社会経済の変化、急速なDXの進展などの環境変化に応じた、スピード感ある業務変革を重要課題としております。
- 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で進め、経営資源を効率的に再配分し、営業体制の増強につなげております。また、SBIグループの知見やノウハウも積極活用し、新たな金融サービスの提供や業務の再構築に取り組んでおります。

#### 「店舗戦略」「業務効率化」「人員戦略」を一体で推進



SBIグループ連携の積極活用

## ④ 経営管理

- 大口取引先の破たんに伴う赤字決算を踏まえて、子銀行の信用リスク管理への関与を強化し、社外取締役の知見を活用しながら、ガバナンス態勢の強化と実効性向上に取り組んでいます。
- 多様な人材が活躍できる職場環境を目指して、働き方改革や人材育成の取り組みを積極的に進めております。また、SBIグループへ当社グループの若手職員を派遣し、有価証券運用管理、DX・IT、M&A分野等において人事交流を拡大しております。

### 経営管理態勢の高度化

#### リスク管理態勢の強化

信用リスク管理、有価証券運用などHD関与を深め、グループ管理を強化。

#### 社外取締役の知見活用

本部職員との面談、営業店訪問を実施。社外取締役の知見をさらに活用し、グループ重要課題の協議を拡充。

#### 営業体制の統一

子銀行の営業組織を再編・統一化。ノウハウ共有と効率化をさらに進展。

#### 個人営業企画を集約

企画・立案機能をHDに集約。SBIグループ、SBI新生銀行と連携深化。

### 新しい働き方・人材育成

#### 女性・若手職員の活躍推進

女性リーダー育成研修開催。

#### 子育て支援

育児休暇取得者の職場復帰を支援、WEBフォローアップセミナー開催。「産後パパ育休」創設（6名取得）。

#### ワーク・ライフ・バランス

適正な勤務時間管理を実施。

#### 人権尊重の啓蒙

ハラスメント研修の実施。

#### DX人材育成

「ITパスポート」取得を支援。

### ESG / SDGs

#### サステナビリティ

- ◆サステナビリティ投融資方針を策定。
- ◆サステナビリティローンの取扱開始。
- ◆TCFD提言への賛同を表明。

### 次世代へ向けた人事交流

#### SBIグループ

- ◆SBIグループへ職員をトレーニー派遣（有価証券、DX・IT、M&A等）。
- ◆SBIマネープラザ共同運用を通じて、職員交流、ノウハウ吸収。

## ⑤ SBIグループとの主な連携状況

- 当社グループは、SBIグループとの連携を積極活用し、本業支援、業務変革、経営管理、人材育成の各分野で提携効果を発揮しております。
- 2020年11月に資本業務提携を締結以来、SBIグループから140提案を受け、69施策を実施しております。
- 2022年度通期赤字を受けて、2023年4月、SBIグループからの追加支援策検討を公表しており、当社グループの経営改善につなげてまいります。

### SBIグループとの主な提携実績

#### 法人戦略

- ◆無料ECサイト構築支援
- ◆電子稟議ワークフロー導入支援
- ◆事業性ローン団信取扱
- ◆DX関連オンラインセミナー開催
- ◆助成金、補助金申請支援
- ◆DXデータベース

#### 地方自治体支援

- ◆地域通貨(プレミアム商品券)の電子化
- ◆企業版ふるさと納税

#### 個人戦略

- ◆住宅ローン団信
- ◆がん保険
- ◆銀行代理業による住宅ローン
- ◆個人版確定拠出年金
- ◆DX関連オンラインセミナー開催
- ◆投資信託商品

#### ガバナンス

- ◆SBIより社外取締役1名が就任
- ◆SBIよりオブザーバー2名が会議参加



#### コスト削減

- ◆SBI共通ATMへの移行を機関決定
- ◆じもとHD役員賠償責任保険見直し
- ◆SBIビジネス・イノベーターのノウハウ活用

#### 有価証券運用

- ◆子銀行有価証券ポートフォリオ再構築

#### SBIマネープラザ

- ◆共同店舗運営、資産運用提案の向上
- ◆相続に係るコンサルティング業務の強化

#### 人材トレーニー派遣

- ◆SBIネオファイナンシャルサービシーズ (FinTech)
- ◆SBIアセットマネジメント (有価証券運用・管理)
- ◆SBI証券 (M&A)
- ◆SBIホールディングス社長室 ビッグデータ担当 (AI・DX)

#### ファンド出資

- ◆SBIインベストメント組成ファンド出資

## ⑥ グループ業績改善への取組み（じもとホールディングス）

- じもとホールディングスは、2022年度通期の赤字決算を踏まえ、リスク管理態勢の強化、営業組織の統一と集約、SBI連携によるDX推進を通じて、子銀行の経営管理へさらに関与を強め、グループ全体の業績改善を牽引しております。

### 強いリーダーシップでグループを牽引

#### 営業体制

##### 法人営業体制の統一

- ◆ グループが特化する業務（中小企業支援）の明確化、経営資源の集中
  - ◆ 審査ノウハウの共有、グループ内での効率化
  - ◆ SBIグループ及び新生銀行との連携深化
- 主力分野の中小企業支援体制を強化

#### リスク管理

##### 信用リスク

- ◆ 適切で計画的な引当金管理
  - ◆ コロナの影響を受けている事業者の現況把握、経営改善支援
  - ◆ 温泉旅館業や観光サービス業の再生に向けたリスクテイク
- コロナ禍を踏まえた信用リスク管理強化

#### DX（SBI連携）

##### SBI共通ATM

- ◆ SBIグループ提供の共通ATMへの移行を両行が決定
  - ◆ 新紙幣が発行される2024年頃導入
- グループ全体でコスト削減の見通し

##### 個人営業企画のHD集約

- ◆ じもとホールディングスにおいてグループ戦略を企画・立案
  - ◆ グループでノウハウを集約・蓄積
  - ◆ SBIグループ及び新生銀行との連携をさらに深化
- 両行の個人営業対応力の向上とスピードアップ

##### 市場リスク

- ◆ リスク許容度の再設定
  - ◆ モニタリング指標追加による実効性のあるモニタリング体制の確立
  - ◆ SBIグループとの双方向のリスクコミュニケーション
- 有価証券ポートフォリオの再構築における市場リスク管理強化

##### バンキングアプリ

- ◆ SBIグループ提供のバンキングアプリの稼働開始
  - ◆ アプリ機能の随時追加、生体認証によるセキュリティの強化
- 取扱サービスの拡充、利便性の向上

## ⑥ グループ業績改善への取組み（きらやか銀行）

- きらやか銀行は、中小企業支援により特化し、コロナ禍の影響を受ける地元中小企業にさらに寄り添い、貢献する態勢を再構築するため、営業戦略の見直し、店舗網等の再編、企業支援体制や貸出審査体制の強化など、抜本的改革に取り組んでおります。
- 併せて、経営体質強化のため、役員体制の見直し、抜本的な経費削減、有価証券運用態勢の再構築に取り組んでおり、じもとグループ及びSBIグループとの連携を強化することで、早期の業績回復と経営安定化を実現してまいります。

目指す姿

「中小企業支援」に特化

－ 真に顧客に寄り添い、本来の金融仲介機能を発揮 －

### 中小企業支援への傾注

- ◆営業戦略見直し
- ◆本部組織再編
- ◆店舗網見直し

### 企業支援体制の強化

- ◆事業再生部署・企業支援部の強化
- ◆地元企業へ当行職員派遣支援

### 貸出審査体制の強化

- ◆融資部人員の増加
- ◆事案を踏まえた財務分析ポイントの修正

### 役員体制の見直し

- ◆役員数の大幅削減、報酬削減
- ◆意思決定と施策実行の迅速化
- ◆SBIグループから役員派遣

### 抜本的な経費削減

- ◆硬式野球部の無期限休部
- ◆物件費の削減

### 有価証券運用の再構築

- ◆ポートフォリオ再構築
- ◆運用収益の一部を評価損へ充当  
中長期的な評価損解消へ

## ⑥ グループ業績改善への取組み（仙台銀行）

- 仙台銀行は、トライアングル戦略（本業支援、業務変革、経営管理）に更に磨きをかけ、顧客ニーズにスピーディーに対応することで、経営基盤の強化につなげております。また、有価証券運用態勢の再構築により、有価証券評価損の解消に努めております。

### トライアングル戦略を磨き上げ、経営基盤を強化

#### コア戦略の更なる推進

- ◆ スピード対応による顧客基盤強化
- ◆ オーダーメイド型融資による多様な資金ニーズへの対応
- ◆ チャンネルの拡充、強化による顧客ニーズへの対応

#### 複合取引の拡充

- ◆ SDGs取組支援サービスの体制強化
- ◆ SBI連携による資産運用・相続対応強化

#### 経費削減

- ◆ 業務プロセス見直しを伴う効率化

#### 有価証券運用態勢の再構築

- ◆ ファンド内で短期債への切替、評価損拡大を抑制済
- ◆ 今後、ファンド内で再投資を実施
- ◆ 運用収益一部を評価損の中長期的な回復へ順次充当

#### トライアングル戦略

効率化・選択と集中

IT・FinTechの活用  
新分野への取組み

コア戦略の推進  
中小企業向け貸出増強

➤ 金融仲介機能の更なる発揮

#### 共通価値の創造

- ◆ 取引先や地域社会の持続的な発展
- ◆ 仙台銀行、グループの企業価値向上

## ⑦ 2023年度の重点課題（黒字回復、コロナ支援特例公的資金、SBI連携強化）

- 2023年度の最重点課題は「黒字決算へ回復」であり、SBIグループの追加支援策も含め、業績回復への各施策を通じ、当グループの経営改善を着実に進めてまいります。
- コロナ支援特例公的資金を2023年9月を目途に申請することを決定し、的確に申請対応を進めてまいります。また、きらやか銀行がコロナ支援特例公的資金を活用し、支援先の業況改善に貢献できるよう、グループ全体で対応状況を管理してまいります。

重点課題	じもとHDの現状	2023年度の対応
① 黒字決算へ回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大口取引先が破たん、多額の信用コスト発生</li> <li>・有価証券評価損が拡大、運用収益が減少</li> <li>・「グループ業績回復への取組み」を実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆貸出金業務へ再注力、収益力アップ</li> <li>◆SBIポート再投資へ継続対応（SBI連携）</li> <li>◆経費全般の削減（店舗・物件等）など</li> </ul>
② コロナ支援特例公的資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ支援特例公的資金を2023年9月を目途に申請</li> <li>・SBIグループからの追加支援策を検討</li> <li>・自己資本比率規制の影響、対策を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コロナ支援特例公的資金申請への的確な対応</li> <li>◆SBIグループ連携の再強化</li> <li>◆自己資本比率規制対応</li> </ul>
③ リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用リスク、有価証券リスクの管理強化</li> <li>・日常モニタリングをグループ全体で強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コロナ支援先の業況改善への貢献状況を管理</li> <li>◆SBIグループと連携、有価証券運用体制を再構築</li> </ul>
④ 株価対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤字決算、減配が株価へ影響</li> <li>・資本コストや株価を念頭においた経営の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆会社説明資料等の開示情報の拡充</li> <li>◆「グループ業績回復への取組み」を徹底</li> <li>◆次期中期経営計画に向けた資本コスト等の協議</li> </ul>
⑤ ESG/SDGs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サステナビリティ投融資方針の策定</li> <li>・サステナビリティローンの取扱開始</li> <li>・TCFD提言へ賛同表明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆サステナブルファイナンスに積極対応</li> <li>◆気候変動リスク対応</li> <li>◆女性管理職比率15%目標対応</li> </ul>
⑥ 人的資本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手/女性渉外の早期戦力化</li> <li>・店舗再編等による営業人員の創出、再配置</li> <li>・SBIグループとの人材トレーニー交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆若手/女性渉外の営業力強化</li> <li>◆人権尊重の啓蒙、実践</li> <li>◆SBIグループとの人材トレーニー交流継続</li> </ul>

---

## 3. じもとグループのサステナビリティ (サステナビリティ活動報告)



# ① サステナビリティ基本方針

- 当社グループは、2021年12月に「サステナビリティ基本方針」を制定、2022年4月に「サステナビリティ推進グループ」を設置しました。
- 持続可能な社会の実現に向けて、役員研修や支店長会議でグループ方針を周知し、本業支援と各主要課題に取り組んでおります。

## サステナビリティ基本方針

じもとグループは、地域金融グループとして「宮城と山形をつなぎ、本業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことを経営理念としております。

この経営理念に基づく事業活動を通じて、取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献し、併せて、当社グループの中長期的な企業価値の向上にもつなげていく「共通価値の創造」の実現を目指してまいります。

1. じもとグループは、「本業支援」を通じて、宮城県と山形県の地元中小企業が直面する、地域経済の縮小、人口の減少・高齢化、後継者問題などの中長期的な課題への対応、業況の改善に取り組んでまいります。
2. じもとグループは、環境問題、職員の健康・労働環境の改善や公正・適切な処遇、人権尊重、東日本大震災の被災経験等を踏まえた危機管理などに取り組んでまいります。
3. じもとグループは、国連が提唱するSDGsの趣旨に賛同し、持続可能な地域社会の実現に向けて、外部連携も活用しながら、社会的な課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

**本業支援を通じた取引先への取組み**  
(金融機関としてなすべきこと)

**主要課題への取組み**  
(上場企業としてなすべきこと)

取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献  
当社グループの収益改善

**「共通価値の創造」**の実現へ

## ② 本業支援を通じたサステナビリティ

- 当社グループは、本業支援を通じて、地元中小企業や地域の中長期的な課題の解決に対応。取引先や地域社会の持続的な発展に貢献することで、当社グループの企業価値を向上させてまいります。

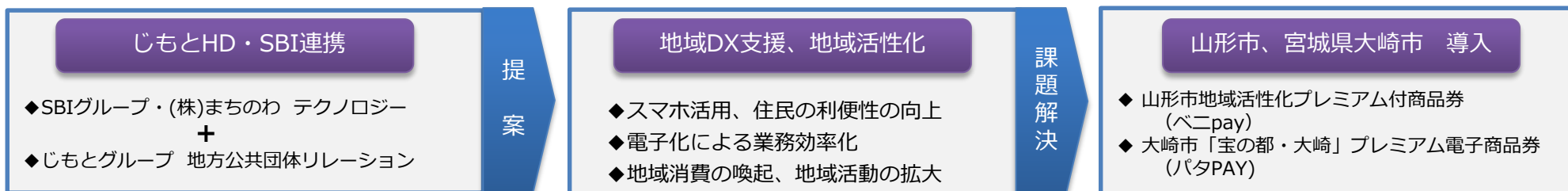
### <中小企業や地域の中長期的な課題>



### <課題解決への取組み>

新型コロナ禍の影響	地域経済の縮小	人口の減少・高齢化	後継者問題
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 取引先への訪問、面談の徹底</li> <li>◆ スピード重視の資金繰り支援</li> <li>◆ 事業再構築補助金の申請支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 県境を越えた新たな商機創出</li> <li>◆ 地公体へ電子地域通貨支援</li> <li>◆ サステナブル関連融資・投融資方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中小企業のデジタル化支援</li> <li>◆ 企業主導型保育施設の設置</li> <li>◆ 外国人技能実習生の受入れ支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 次世代の地域経営者の育成</li> <li>◆ 経営人材の紹介、婚活支援</li> <li>◆ 事業承継・M&amp;A支援</li> </ul>

### <地公体へ電子通貨支援>



### ③ 主要課題への取組み

- 当社グループは、上場企業、地域企業として取り組むべき、サステナビリティの5つの課題を設定して取り組んでおります。
- 従業員や取引先など、多様なステークホルダーとの良好な関係を構築することを通じて、持続可能な社会の実現を目指しております。

#### 主要課題 1 気候変動などの地球環境問題

項目	取組み状況
電力消費量削減	【削減実績】 △240千kwh/年 ※2022年度グループ実績
照明設備のLED化	【実施率】 63.1% (95カ店のうち60カ店で実施) ※2023年3月末現在
通年輕装勤務（クールビズ/ウォームビズ）の導入	じもとHD、きらやか銀行、仙台銀行の3社とも導入済み
気候変動リスクへの対応	外部説明会の受講等による情報収集

#### 主要課題 2 人権の尊重

項目	取組み状況
通報相談窓口等の体制整備	内部通報窓口、ハラスメントに係る相談窓口を設置。通報先に外部弁護士を追加。ハラスメント事案の発生防止、早期発見に取り組んでおります。
研修を通じた職員への啓蒙	職場でのハラスメント予防、コンプライアンスの各種研修を実施しております。 【きらやか銀行】 コンプライアンス研修8回/管理職対象研修5回/職場研修6回 【仙台銀行】 管理職対象研修2回/次長課長補佐対象研修1回/職場研修12回 ※期間：2022年4月～2023年3月

### ③ 主要課題への取組み

#### 主要課題 3 従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇

項目	取組み状況
健康・労働環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外労働時間の削減、勤務間インターバル制度、有給休暇の取得推進など、ワークライフバランスの実現に向けて勤務時間の適正な運用管理を実施しております。</li> <li>健康診断とストレスチェック（各年1回）、産業医・保健師等の相談窓口により、職員の心身の健康管理を実施しております。</li> </ul>
公正・適切な処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員毎の目標管理、能力考課を柱とした人事考課制度を運用。</li> <li>併せて、職員の自発的な能力開発に向けたサポート体制を整備しております。</li> </ul>

#### 主要課題 4 取引先との公正・適正な取引

項目	取組み状況
規程や担当部署等の体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスマニュアル、利益相反管理方針等の制定（守秘義務、説明義務・適合性の原則、苦情・相談・トラブルへの対応、善管注意義務と顧客財産保護、顧客との癒着排除等）</li> <li>コンプライアンス委員会でのルール遵守状況チェック、問題事案への対応</li> <li>苦情受付窓口の設置</li> </ul>
研修を通じた職員への啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスプログラム、コンプライアンス研修の実施</li> </ul>

#### 主要課題 5 自然災害等への危機管理

項目	取組み状況
事業継続体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続計画（地震発生、大規模災害、感染症発生時）を策定し、定期的に災害訓練を実施しています（年2回）。</li> <li>営業店への自家発電装置、止水板の設置など、災害に強い設備を整備しています。</li> </ul>
災害発生時の業務運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の銀行取引の特例措置への迅速な対応（現金払出し、小切手・手形決済、喪失通帳の再発行、各種手数料の減免等）</li> </ul>

## ④ 人事戦略、投資

### 人材育成の取組み

- 当社グループは、銀行業務の拡大や働き方改革が進展する中、様々な選択肢をもった人事制度を構築し、性別や採用経緯等に関わりなく、多様な人材が活躍し、能力を発揮できるよう人材育成に取り組んでおります。
- 研修受講やSBIグループとの人事交流については、公募制を導入するなど、職員に対して均等な教育機会を提供しております。

人材育成	取組み状況
能力開発	階層別研修、本業支援実践力行内認定資格制度、行内FPスクール
女性の活躍促進	じもとホールディングス女性活躍推進ワーキング会議を開催
外部連携	SBIグループとの人事交流の実施（有価証券運用、DX、M&A、ビッグデータ・AIヘトレーニー派遣）

	管理職に占める女性職員割合 (2023年3月31日現在)	正職員に占める 女性職員割合	新規採用職員に占める 女性職員割合
きらやか銀行	<b>9.4</b> % (11名/117名)	41.3% (320名/775名)	50.0% (6名/12名)
仙台銀行	<b>15.3</b> % (18名/118名)	46.8% (339名/725名)	60.0% (12名/20名)

目標：15%以上（2026年3月末）

<参考> 当社グループでは、女性役員は1名（仙台銀行取締役監査等委員、内部昇格）となっております。

## ④ 人事戦略、投資

### 社内環境整備の取組み

- 当社グループは、少子高齢化、コロナ禍による社会経済の急変、DXの進展、新業務の拡大など環境変化が進展する中、スピード感をもって業務変革に取り組んでまいります。
- これらの環境変化に対応するためには、性別等に関わりなく、働き甲斐と働きやすさ、自己実現ができる環境を整備することが必要であり、当社グループは、「育児や介護との両立支援」や「新たな働き方・人材育成」の環境整備を進めております。

育児・介護の支援	取組み状況
休業制度等	育児休業、介護休業、短時間勤務の支援制度を完備
社会全体での子育て支援	育児休業の取得を促進（男性職員の取得も推奨）
育児休業者へのフォロー	フォローアップセミナーの開催、職場復帰事前面談・研修の開催
職場への復帰支援	企業主導型保育施設の設置、企業主導型保育事業者との保育園利用提携
勤務エリア	居住地から通勤可能な範囲での転勤に限定できる勤務エリア選択制度を運用

多様な人材の活躍支援	取組み状況
正社員登用制度	非正規職員から正職員への登用制度を運用
ベテラン職員の活躍支援	定年後もシニア職員として勤務が可能な制度を運用
専門人材の育成	専門性の高い業務に従事するSPコースと営業職に特化するFCコースを設定
若手職員活躍支援	指導員制度による新入行員指導、企業訪問研修「チャレンジダイバーシティ制度」 公募制の外部出向を通じた育成支援
キャリア・リターン制度	結婚、出産、育児、介護等で退職した元職員の再雇用制度を運用
旧姓の継続使用	職員の婚姻等による改姓後も旧姓をビジネスネームとして使用可能に

## ④ 人事戦略、投資

### <ワーク・ライフ・バランス関連指標>

	年次有給休暇取得率（2022年度）	平均残業時間（2022年度／月間）	平均勤続年数（2023年3月末現在）
きらやか銀行	52.6%	7.6時間	男性：21.0年 女性：16.0年
仙台銀行	56.8%	9.3時間	男性：16.0年 女性：9.8年

### <主な表彰・認定実績>

きらやか銀行	やまがた子育て・介護応援いきいき企業「優秀（ダイヤモンド）企業」
	山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰（2015年度）
	均等・両立推進企業部門山形労働局奨励賞（2015年度）
	次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」
仙台銀行	イクボス宣言、やまがたイクボス同盟加盟
	宮城県 女性のチカラを活かす企業認証制度「ゴールド認証企業」
	宮城県いきいき男女にここに子育て応援企業 最優秀企業
	宮城県・宮城労働局 魅力ある職場づくりモデル企業表彰
	次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」
	イクボス宣言、イクボス企業同盟・みやぎイクボス同盟加盟
	みやぎ働き方改革実践企業認証
	厚生労働大臣女性活躍推進法「えるぼし認定」
	仙台市障害者雇用貢献事業者表彰
	ベビーファースト運動参画

### <知的財産への投資>

	主な実施状況
本業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>きらやかマネジメントスクール（山形大学等と連携、次世代の地域経営者育成）／累計受講者173名（1～5期）</li> <li>仙台銀行ビジネスクラブ次世代経営塾／累計受講者数45名（1～3期）</li> <li>本業支援を通じた新たな金融サービスの開発等</li> </ul>
外部連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>SBIグループとの連携によるDX等の金融テクノロジーの導入、吸収</li> </ul>

## ⑤ トピックス（きらやか銀行）

### ビジネスカジュアルの導入

◆当行では、従来の勤務時における服装基準の見直しを図り、ビジネスカジュアル導入による服装の多様化を開始いたしました。

◆職員の自主性や多様性を尊重することで、多様な価値観や固定概念に捉われない柔軟な発想を生み出す職場環境を整備し、更なる本業支援の発揮とサービスの向上に努めてまいります。



### 「DX推進セミナー」への共催

◆2022年12月、山形新聞社主催の「DX推進セミナー」を共催いたしました。山形新聞社が主催となり、IT導入補助金事務局や地方自治体と連携し、山形県内のDX推進を目指すことを目的としたものです。

◆当行のDXへの取り組みや取引先のDX事例を参加者に向けて発表いたしました。当行ではお客さまのDX推進を図るべく、今後も取り組んでまいります。



### お客さま感謝定期預金

◆当行は地域の皆さまに支えられ、創立15周年を迎えました。

◆日頃の感謝を込めて、当行では「お客さま感謝定期預金」を発行いたしました。引き続きお客さまに喜んでいただけるような商品の企画をしておりますので、これからもご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。



### 「I know IBD」プロジェクトへの取り組み

◆当行ではIBD（炎症性腸疾患）の理解促進プロジェクト「I know IBD」に賛同いたしました。IBD患者様を取り巻く様々な環境、特に日常生活に影響の大きい外出時のトイレへの不安を解消するため、本プロジェクトでは協力企業においてIBDの啓発・広報活動や患者様へのトイレ無償貸出等を行っております。



※IBD(炎症性腸疾患)・・・指定難病であるIBDは、大腸や小腸など消化管に炎症が起こり、腫瘍を合併することもある疾患。主に潰瘍(かいよう)性大腸炎とクローン病があります。下痢や腹痛が主な症状であるため、トイレの回数の急増や、食事制限など生活に様々な影響を及ぼすことがあります。



## ⑤ トピックス（仙台銀行）

### LINEスタンプ販売開始

- ◆仙台銀行オリジナルキャラクター「おさいふちゃん」のLINEスタンプを2023年1月より販売開始しました。
- ◆日常会話で使いやすく、仙台方言メッセージを添えたスタンプとなっております。
- ◆今後も地域の皆さまに親しみを感じていただけるよう、サービスの充実に取り組んでまいります。



### 仙台銀行ファミリーデー開催

- ◆2022年10月に、ワークライフバランス推進への取り組みの一環として職員家族向け職場見学会を開催しました。
- ◆職員家族23名が参加し、行内見学や札幌体験を行いました。
- ◆今後も職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図ってまいります。



### イズミノオトドケコンサート

- ◆2022年11月、本店9階講堂にて、イズミノオトドケコンサートが開催されました。
- ◆仙台銀行ホールイズミティ21の大規模改修に伴う休館のため開催された出前コンサートです。
- ◆当日はたくさんの方にお越しいただき、良質なクラシックをお届けしました。



撮影：今田 亨

### SBAにおけるクラウドファンディング

- ◆2023年2月、Sendai Big Advanceのクラウドファンディング機能を活用し、当行取引先が実施するプロジェクトの支援を行いました。
- ◆今後も、中小企業の経営課題を、本業支援を通じて解決し、地域経済の活性化に貢献してまいります。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス  
総合企画部

TEL: 022-722-0011 (代表)  
<https://www.jimoto-hd.co.jp>